

## 2020年(令和2年) 幾代会 8月観察会

### 東豊田緑地保全地域

実施日時 2020年8月23日(日)

参加者 越前 太田 羽深 宇津木 中部

下見者 須崎 中部(7月26日 日曜日) 越前(8月18日 火曜日)

下見の時は暑い日であった。終り頃通り雨に出くわした。日取りの変更などもあり、暑さの谷間となった。天気予報は午前中から雨マークであった。実施には判断が難しい状況だった。雨になっても夏の雨だから、見えないものも見えてくると考え、実施に踏み切った。予想を裏切り全日雨は降らなかった。気温もそれほど上がらず、汗だくということにはならなかった。

#### 観察エリア

日野市役所→日野中央公園周遊→神明野鳥の森公園上部→黒川段丘崖散策コース→善生寺(日野七福神 大黒天・大仏)→若宮神社(トイレタイム)→黒川清流公園→清水谷公園

東豊田緑地保全地域は日野台地を北側が谷地川と浅川に挟まれた台地である。中央線を挟んで崖線が東西に延びている。野鳥の森公園は上の段から、下の段にかけて浅川側に。日野市役所は台地の東はずれに位置し、日野駅は市役所の北にあり低い場所である。谷地川の北に多摩川が流れ、3つの川が日野市を境に合流する。日野台地は浅川と谷地川が削った台地である。

#### 日野中央公園及び崖線沿いの植物

公園内はバラが植えられ、樹木はケヤキが目立つ。ヤブラン エノキの実 コナラの実 クズ センニンソウ ヤブガラシ ツルボ オニドコロ キツネノカミソリ アキニレ ヤマモモ

#### 黒川清流公園崖線沿い

ツユクサ ミズヒキ ヤマホトトギス コバギボウシ カラスウリ ヒヨドリジョウゴ クズ フヨウ ミゾホオズキ クマノミズキ コブシ ノシラン ムクノキ タイアザミ ダイコンソウ キンミズヒキ ギンミズヒキ アキノタムラソウ クヌギ ヤドリギ セキショウ ヤブミョウガ  
近隣であまり見ない樹木 ハンノキ 崖線沿いは湧水が5か所ほどあり、流れは集まって西側から東側に流れる。そのため、いつもひんやりとした空間を形成している。ハンノキは北海道の湿原地帯に多い木である。

#### 黒川清流公園での解説(越前和子) 黒川清流公園で大休止をする間

テントウムシの解説 肉食テントウムシ(ナナホシテントウムシなど)→アブラムシを食べる→益虫

草食テントウムシ(ニジュウヤホシテントウムシなど)→ナス科の植物を食べる→害虫  
チョウとガの違いの解説 → どんな違いがあるのだろうか。調べてみよう。

林の中の王様 カブトムシがクヌギの木に集まるのはなぜ? クヌギはコルク質を厚く形成し、樹木を守る役割がある。光合成で作られた栄養分は糖分を含み樹液として染み出る。

樹皮の薄い樹木は

樹皮を守るために抗菌物質を出して守る。昆虫にとってはおいしくない。

#### その他

善正寺 日野七福神大黒天 大仏 ここでは大黒天を祀る場所が休憩所となっている。また、大仏殿からは多摩丘陵の風景が望める。

若宮神社 豊田の守り神とし、境内内は御嶽神社など5つが合祀されているという。

## 林の中での出会い

今年90歳を迎えたという元少年飛行兵に出会う。野鳥観察用の望遠鏡をジッツオの三脚につけている。下に落ちた枝をしきりに探しているの、何をしているのか聞いてみた。

枝にいたコナラのドングリ→虫がドングリに卵を産み付ける為ドングリのパンツに穴をあけて産み付けると解説してくれた。そういえばパンツの部分が柔らかい。

更に 望遠鏡で桜に付着したヤドリギ（3年目のものとか）の着生状況を覗いてみた。

私は群れるのが嫌いだね。と言いながら、学童保育で樹木などを使った工作で、昆虫などのデザインをして、バッジを作り楽しんでいるという。



黒川清流公園で出会った富田さん真ん中（元陸軍少年飛行兵） 撮影 太田和子さん